

平成24年度 次世代育成支援事業報告書

市町村老連名 高梁市老人クラブ連合会

実施クラブ名 有漢地域老人クラブ

① 地域の概況	高梁市有漢町は、岡山県中西部に位置する高梁市の北東に位置し、高原と山林に占められている。高梁市内唯一の高速道 IC があり、岡山市内へも約 35 分と市内では便利な地域である。人口は2, 446人、高齢化率37.8%と少子高齢、過疎化が進んでいる。 有漢地域老人クラブは8単位クラブからなり、317人の会員で結成されている。各単位クラブでも、さまざまな活動をしているが、8つの単位クラブと連携を取りながら地域クラブの活動を充実させている。
② 活動の状況	1) 世代間交流事業 日 時：平成24年5月27日（日）10：30～12：00 場 所：有漢東小学校体育館 参加者：全校児童45名、保護者祖父母60名、教諭8名、老人クラブ会員4名 有漢東小学校から三世代交流として、正月行事に使われていた『コトコト馬』の作り方を教えてもらいたいと有漢地域老人クラブに講師の依頼があった。 当日は、老人クラブ会員が用意した藁を使いコトコト馬を作った。 児童の保護者や祖父母の方も作り方のわからない人ばかりでしたが、熱心な指導でたくさんのコトコト馬が出来上がった。 2) 昔あそび交流会 日 時：平成25年2月4日（月）9：30～12：00 場 所：有漢東小学校 参加者：1年生10名、老人クラブ会員9名 有漢東小学校の1年生を訪問し、駒まわし、おはじき、メンコ、お手玉などの遊び方を児童に教えながら、昔を懐かしんで楽しみながら交流した。 3) 昔あそび交流 日 時：平成25年2月7日（木）13：30～13：00 場 所：有漢西小学校 参加者：1, 2年生19名、老人クラブ会員10名 有漢西小学校より依頼を受け、1, 2年生を訪問した。教室でおはじき、かるた、駒まわし、けん玉、お手玉、あやとり、福笑いをし、体育館で羽根つきをした。 お手玉やあやとりは、会員も昔遊んだことを思い出しながら、指導する場面もあり楽しい交流となった。

③活動の効果	有漢地域は小学校 2 校、中学校 1 校あるが、小学校には複式の学年もあり、少子化が進んでいる。また近年、市営住宅の整備等により若い世代が増えてはいるが逆に核家族化がすすみ、世代間の交流が薄れてきている。そのような中で、昔あそびを通じ、子ども達や若い世代の保護者に、地域の高齢者とふれあうことで、地域への関心を持ってもらえたのではないかなと思う。 子ども達は、教わりながら難しいものを苦労して自分で作ることで物作りの楽しさや、物の大切さを知ることができたと思う。また、昔のおもちゃを初めて手にする児童も多く、会員から教わることも多かったように思う。小さな地域での交流なので、親しみを感じ我が孫のように接することができ、お互いに良いふれあいとなった。 先生から、今の保護者の世代でも遊び方を知らない親が増えている。児童が教わる前に保護者が覚えていなければ、昔あそびを伝えて行くことが難しくなるのではないかなと思うというお話もあり、児童や若い保護者が高齢者と交流を行うことで、その先の世代まで遊びの文化が継承できるのではないかなと思われる。
④今後の課題・問題点	・ 今後は、学校の行事への参加だけでなく、老人クラブ独自の事業として、多くの子供たちとの交流の場を持ちたいと思う。 ・ 昔あそびのおもちゃ用の材料集めなど、準備の手間などを考えていく必要がある。
⑤今後の進め方	今後は、小学校やPTAと連携を取りながら、会員の健康増進につながる事業も含め、世代間の交流を多く実施していきたいと思っている。 また、老人クラブ主催の新しい事業として交流事業を考えて行こうと思う。